

出航に花を添えた笑顔の傘—横浜港大さん橋



# 神奈川新聞

THE KANAGAWA

2011年 [平成23年] 1 / 22 [土曜日]  
赤口

## 横浜港から世界青年の船

# 笑顔の傘 出航に花

世界中に笑顔の傘を広げよう。多国間交流を目的に4カ国を旅する「世界青年の船」(内閣府主催)の出航に合わせ、横浜港大さん橋で21日、子どもたちの笑顔がプリントされた傘を開く「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が行われた。

(北川 文)

同プロジェクトは東京のアーティストレクター水谷孝次さん(59)の主宰で、日本や中国など、震災などの被害に遭った国の子どもに「あなたにとっての merry (幸せ)とは何ですか?」

## 交流4カ国 希望運ぶ

と問いかけ、それぞれが答えを発した際の笑顔を撮影して傘にプリント。汽笛に合わせ船の中と外で一斉に傘を広げると、約40人の子どもの笑顔が出航に花を添えた。

今後寄港するすべての港で傘を開き、現地の人々と交流する予定。船に搭乗している大学生の小林雄さん(22)は「船で13カ国から集まった人々と、原爆などについてディスカッションする。深刻な問題で暗くなっても、笑顔は未来の希望と伝えたい」と話していた。「世界青年の船」は今回23回目、最近の約10年間は横浜港から旅立っている。